

強者の戦略

数学科の竹本です。今回はちょっと遊び心を入れてみました。少年時代に戻った気分で読んでもらえれば・・・と思いますが、数学の問題としてはかなりややこしく見えると思います。大昔の入試問題の改題です。

数学第3問 (IIIC)

ヨシヒロ少年は自宅の倉庫から宝物のありかを示す地図を見つけた。しかし、宝物の埋めである正確な場所は分からず、ヒントが書いてある紙面がある。紙面には

「草原に銀杏の木と楓の木が寂しく立っており、そして大きな岩がある。大きな岩から銀杏の木に向かって歩数を数えながら歩け。銀杏の木についたら、そこから右に 90° 向きを変え、さらに同じ歩数だけ歩きそこに目印を置け。また、大きな岩から楓の木に向かって歩数を数えながら歩け。楓の木についたら、そこから左へ 90° 向きを変え、さらに同じ歩数だけ歩き、そこにも目印を置け。2つの目印の中間地点に宝が埋めてある。」

と書いてあった。さて、ヨシヒロ少年が友人のあなたと地図の示す草原に来たところ、大きな岩は撤去されており跡形もなかった。ヨシヒロ少年は宝探しを諦めようとしているが、あなたにヨシヒロ少年のために宝のありかをつきとめてもらいたい。